Okayama EU Letter
Vol. 11
岡山EU協会会報　2019. 10

2019年度理事会・総会開催　新会長に松田正己氏を選任

2019年度理事会が６月10日（月）、岡山県矢掛町の矢掛屋「広重の間」で開かれ、任期満了に伴う役員改選の結果、会長の松田久氏（岡山経済同友会顧問）の後任として松田正己氏（岡山経済同友会代表幹事、山陽新聞社代表取締役社長）が選出された。松田久氏は筆頭理事に就任した。

2019年度理事会・総会

活動報告

- 第22回 EU 講座「サステナブルな再生可能エネルギー利用
—EU の実例を中心に—」
- 第23回 EU 講座「チーズの魅力」
- 第24回 EU 講座「欧州全体の林業の現況と未来
CLT の活用状況と未来に向けての展望」

Topics

全国 EU 協会総会
就実グローカル・フォーラム2018

〔第１号議案〕 2018年度 事業報告

１、欧州の経済･文化事情について、フォーラムや講演会を開催

2018年５月21日（月）、第21回 EU 講座として、岡山大学大学院の中谷文美教授（文化人類学）を招いて、岡山市北区の「VIA PACE」で「仕事は人生の中心じゃない？　オランダ流の働き方･暮らし方」と題して話していただき、40人がオランダのワークライフバランスについて聞き、熱心に意見交換した。

６月13日（水）、（一社）岡山経済同友会と共催で講演会「アルベルゴ・ディフーゾ　フォーラム in 岡山～新しいかたちの分散型ホテル～」を岡山市の ANA クラウンプラザホテル岡山で開いた。提唱者のイタリア・アルベルゴ・ディフーゾ協会会長ジャンカルロ・ダッラーラ氏が理念や取り組みを紹介し、行政や教育関係者を含む約150人が聞いた。

11月２日（金）、岡山経済同友会環境・エネルギー委員会と共催で、第22回 EU 講座として福島再生可能エネルギー研究所の近藤道雄上席イノベーションコーディネータを招き、ANA クラウンプラザホテル岡山でＥＵのエネルギー政策や環境政策について聞いた。

11月３日（祝）には、就実大学、岡山県中小企業団体中央会と共催で、ビル・エモット氏、グレン・Ｓ・フクヤマ氏、出井伸之氏を招いてパネルディスカッションを就実大学110周年記念ホールで開き、「VUCA 世界における日本の選択～ EU、アメリカ、アジアの視点から～」をテーマに、最新の国際情勢を語っていただいた。

2019年２月25日（月）には、第23回 EU 講座として吉田牧場の吉田全作社長を招き、ANA クラウンプラザホテル岡山で、ＥＵをはじめとするチーズつくりの歴史、チーズの魅力などについて語っていただき、会員ら50人が聞いた。

２、「EU Letter」の継続発行

年１回発行しており、９月に10号を出した。６月６日開催の理事会・総会での決定事項、会合の様子などを紹介した。総会でのネスレ日本㈱専務グンター・スピース氏の講演「スイスから見た EU」の要約を掲載した。

３、岡山 EU 協会のホームページの充実

岡山 EU 協会内外への情報発信強化を目指し、会長あいさつ、協会会則などを常時掲載し、理事会・総会、EU 講座の開催日のお知らせなどをイベントカレンダーとして掲載している。他の EU 協会ともリンクを張り、それぞれの活動状況が分かるようにしている。

４、会員の増強を図る

平成30年４月は法人63、個人52でスタートし、途中、複数の入退会があり、平成31年３月末は法人63、個人56となった。今後も入会の声掛けに努め、会員の増強を図る。

〔第２号議案〕 2018年度 収支計算書

（2018. 4. 1 ～2019. 3. 31）

収支決算

収入総額	¥4,122,402
支出総額	¥2,533,287
差引残高	¥1,589,115（2019年度に繰り越し）

収入の部

科　目	予算額	決算額	差引額	摘　　要
年会費収入	¥1,600,000	¥1,555,000	¥-45,000	法人会費 @20,000×64、個人会費 @5,000×55
参加会費	¥750,000	¥885,892	¥135,892	総会　@7,000×28＝196,000円 第21回EU講座　@7,000×25＝175,000円 第22回EU講座　@4,000×24＝96,000円 第23回EU講座　@8,000×35－8,108＝271,892円 アルベルゴ・ディフーゾ　@7,000×21人＝147,000円
事業収入	¥0	¥0	¥0	
その他雑収入	¥20	¥16	¥-4	普通預金利息収入
前年度繰越金	¥1,681,494	¥1,681,494	¥0	
合　計	¥4,031,514	¥4,122,402	¥90,888	

支出の部

科　目	予算額	決算額	差引額	摘　　要
総会費	¥1,000,000	¥666,671	¥-333,329	・6/6総会　会場・懇親会　541,550円 ・講師　講演料　100,000円　　交通費等　25,121円
事業費	¥1,000,000	¥1,465,529	¥465,529	・第21回 EU講座費用　5/21　236,519円 ・第22回 EU講座費用　11/2　272,304円 ・第23回 EU講座費用　2/25　436,670円 ・アルベルゴ･ディフーゾフォーラム　6/13　350,884円 ・就実大学グローカルフォーラム　11/3　169,152円
広報費	¥170,000	¥235,125	¥65,125	・ホームページ維持費用　5,884円 ・会報（EU letter）９号発行　229,241円（原稿料、編集・印刷費用）
事務諸費	¥100,000	¥165,962	¥65,962	・通信費　34,046円（FAX 同報、郵送費用） ・出張旅費　90,340円（全国 EU 総会、会津 EU 協会） ・消耗品費　22,104円（用紙、名刺等） ・備品費　19,148円（ポータブルスピーカー） ・その他雑費　324円
予備費	¥50,000	¥0	¥-50,000	
合　計	¥2,320,000	¥2,533,287	¥213,287	

会計監査報告

2018年度の会計について監査を執行し、収入・支出ともに正確に記帳整理されており、帳簿・証拠書類の保管は完全であることを認める。

2019年４月25日

監事　金谷征正

監事　岡崎林

〔第３号議案〕 役員選任の件

名誉会長	岡山経済同友会顧問	越宗　孝昌（再任）
会　　長	岡山経済同友会代表幹事	松田　正己（新任）
副 会 長	駐日欧州連合代表部広報部長	フリオ・アリアス（再任）
副 会 長	岡山大学学長	槇野　博史（再任）
副 会 長	岡山県国際経済交流協会会長	宮長　雅人（再任）
副 会 長	岡山県経営者協会会長	野﨑　泰彦（再任）
顧　　問	岡山県知事	伊原木隆太（再任）
顧　　問	駐日欧州連合代表部大使	パトリシア・フロア（交代）
理　　事	岡山経済同友会顧問	松田　　久（再任）
理　　事	岡山経済同友会顧問	萩原　邦章（再任）
理　　事	岡山経済同友会顧問	泉　　史博（再任）
理　　事	岡山経済同友会顧問	中島　基善（再任）
理　　事	岡山県経済団体連絡協議会座長	中島　　博（再任）
理　　事	岡山経済同友会代表幹事	宮長　雅人（再任）
理　　事	岡山経済同友会常任幹事	古市　大藏（再任）
理　　事	岡山県中小企業団体中央会会長	晝田　眞三（再任）
理　　事	大学コンソーシアム岡山会長	槇野　博史（再任）
理　　事	岡山県文化連盟会長	若林　昭吾（再任）
理　　事	福武教育文化振興財団代表理事・理事長	松浦　俊明（再任）
理　　事	岡山市長	大森　雅夫（再任）
理　　事	倉敷市長	伊東　香織（再任）
理　　事	山陽新聞社社長	松田　正己（再任）
理　　事	山陽放送社長	桑田　　茂（再任）
理　　事	岡山放送社長	中静敬一郎（再任）
理　　事	テレビせとうち社長	土井　雅人（交代）
監　　事	岡山ガス会長	岡﨑　　彬（再任）
監　　事	岡山県商工会連合会会長	金谷　征正（再任）

〔第４号議案〕 2019年度 事業計画（案）

1、12月の創立10周年へ向け、記念式典や EU についての特別講演会を開催する
2、欧州の経済・文化を深く知るため「EU 講座」を複数回、開催する
3、会報「EU　Letter」を継続発行する
4、岡山 EU 協会のホームページの充実を図る
5、会員の増強を目指す
6、EU との友好促進事業を実施・共催・後援する

〔第５号議案〕 2019年度 収支予算書（案）

（2019年４月１日～2020年３月31日）

収入の部

科　目	2018実績	2019予算	差引額	摘　　要
年会費収入	¥1,555,000	¥1,620,000	¥65,000	@20,000×66（２法人増強）@5,000×60（５人増強）
参加会費	¥885,892	¥1,000,000	¥114,108	総会参加会費　※創立10周年記念行事 EU 講座参加会費（３回程度開催予定）
事業収入	¥0	¥0	¥0	EU フィルムデーズ等の事業の開催予定なし
その他雑収入	¥16	¥20	¥4	預金利息
前年度繰越金	¥1,681,494	¥1,589,115	¥-92,379	
合　　計	¥4,122,402	¥4,209,135	¥86,733	

支出の部

科　目	2018実績	2019予算	差引額	摘　　要
総会費	¥666,671	¥700,000	¥33,329	総会費用（会場、懇親会、講師謝礼等）
事業費	¥1,465,529	¥2,000,000	¥534,471	EU 講座費用　約300,000円×3回 ※創立10周年記念事業　1,000,000円
広報費	¥235,125	¥250,000	¥14,875	会報発行、HP 維持更新費用 ※ホームページビルダー購入
事務諸費	¥165,962	¥250,000	¥84,038	通信費、出張旅費、消耗品費 ※プロジェクター購入　約100,000円
予備費	¥0	¥50,000	¥50,000	
次年度繰越	¥1,589,115	¥959,135	¥-629,980	
合　　計	¥4,122,402	¥4,209,135	¥86,733	

2019年度理事会・総会

岡山県矢掛町で理事会・総会開く

岡山EU協会の2019年度理事会・総会が６月10日（月）、岡山県矢掛町の矢掛屋「広重の間」、シャンテ「あかつきの蔵」で開かれ、新会長に松田正己岡山経済同友会代表幹事を選任するとともに、事業計画や収支予算などを決めた。

理事会および続いて開かれた総会には会員ら30人（委任状50人）が出席、理事会で会長の松田久氏（岡山商工会議所会頭）が２年間の任期満了に達し、次期会長に松田正己氏（岡山経済同友会代表幹事）が選出され、松田久氏は筆頭理事に就任することが承認された。

また2019年度の事業計画では、12月の創立10周年に向けて記念式典や特別講演会を開催することや欧州の経済･文化を深く知るための「EU講座」開催、会報「EU Letter」継続発行、協会ホームページの充実などの計画が説明され、新年度の収支予算書も承認された。

この日は、昨年６月岡山EU協会（共催岡山経済同友会観光振興委員会）が開催した「アルベルゴ・ディフーゾ　フォーラムin岡山」で講演したジャンカルロ･ダッラーラ氏が、日本国内で初めて「アルベルゴ･ディフーゾ」に認定された矢掛町で、「認定１周年シンポジウム」を行うことになったため、これに合わせて今年度岡山EU協会の理事会･総会を同町で開いた。

総会参加者らは、屋根がわらが葺き替えられ、白壁も真新しい古民家の甦った矢掛本陣や矢掛屋周辺の家並みを散策後、認定１周年を記念するダッラーラ氏の講演に熱心に耳を傾けていた。また懇親会も開かれ本会会員と矢掛町民らが今後の活動など話し合い歓談した。

理事会　矢掛屋「広重の間」

認定１周年記念シンポジウムの様子

挨拶をする新会長松田正己氏

退任する松田久氏

矢掛町を散策する会員

第22回 EU 講座

EU の“再エネ利用”の動き講演

国立産業技術総合研究所・福島再生可能エネルギー研究所 上席イノベーションコーディネーター 近藤道雄氏

岡山 EU 協会は11月２日（金）、岡山市北区駅元町の ANA クラウンプラザホテル岡山「曲水の間」で第22回 EU 講座（一般社団法人岡山経済同友会との共催）を開催した。講師に、国立産業技術総合研究所・福島再生可能エネルギー研究所上席イノベーションコーディネーターの近藤道雄氏を招き「サステナブルな再生可能エネルギー利用―EU の実例を中心に―」と題する講演を聴いた。

近藤氏講演

松田　久会長挨拶

両団体から40人が出席。松田久会長は開会あいさつで「昨日、近藤先生とご一緒に錦海湾の瀬戸内きらり太陽光発電所の現場へ視察に行ってきた。いよいよ10月１日から235メガワットの世界最大級の太陽光発電所が稼働したが、近藤先生は約10年前に牛窓のオリーブ園から眺めて広大な塩田跡に産総研独自の研究所を建てて塩害に対する研究やアドバイスを進められており、岡山とは縁の深い方だ。日本では平置きの太陽光発電所の建設は難しいといわれていたが、100％中国製の発電パネルを使った電力供給開発を進めている。日本がどういう形で太陽光発電を進めていくかを世界的な見地から研究してきており、こうした観点からお話が聴けるものと期待している」と述べた。

近藤氏は「太陽光や風力など再生可能エネルギーに関連した世界の投資額が現在では年間30兆円に達している。国連提唱の SDGs（持続可能な開発目標）の考え方の中でもエネルギー問題が大半の課題に関係しており、環境への配慮や資源の枯渇などの問題を考えると、企業戦略には大きなポイントになる」と指摘、「とくに欧州では、環境、社会、企業に対する“ESG 投資”が世界でも突出して多く、石炭火力の減少に対して、再エネへの投資額が大幅に増えてきている」と説明した。

さらに、欧州各国で広まっている“スマートシティ”の街づくりに触れ「世界のエネルギーは70％が都市で消費されており、このうち40％が建物、30％が交通関係だが、都市には“レジリエンス（回復力）向上の道”として、独立型、情報共有型、電力共有型の３つの型がある。このうち電力共有を進めてリスクを分散しているドイツの場合、災害時に全市で停電したときの復旧など、都市機能を維持する上で非常に有効な手段になっている」と述べた。最後に太陽光や風力発電は世界的には堅調に伸びているとした上で、岡山の場合に触れ「日照に恵まれた地域であり、太陽光発電をもっと普及して“スマートな岡山“の実現に努力していただきたい」とこれからの進む方向を示した。

第23回 EU 講座

吉田牧場社長　吉田全作氏
「チーズの魅力」について

吉田　全作 氏

第23回 EU 講座は２月25日（月）、岡山市北区駅元町の ANA クラウンプラザホテル岡山で開かれ、チーズづくりで世界的にも著名な吉田牧場の吉田全作社長による「チーズの魅力」について、会員ら50人が講演を聴いた。

まず、あいさつに立った岡山 EU 協会の松田久会長（両備ホールディングス代表取締役社長）は「今日は EU 好きで、中でもチーズ好みの方に集まっていただいたものと思っておりますが、“EU の香りはチーズの香り”といわれるように、チーズと EU は切り離せないものと思っています。チーズ好きの皆様も興味を抱いてお話を聞いて下さい」と述べた。

続いて吉田氏が講演に立ち、「EU のチーズづくりの歴史は浅く、産業革命の後に増え始めて、今では“村が変われば名前も変わる”といわれるほどチーズの種類は多いのですが、基本的なつくり方は５つくらいしかありません。世界で最も古くからチーズのつくり方が多いのはモンゴルで、紀元前１万年くらい前からチーズがあります。そのころはほとんどアジアが中心で、中近東やネパール、ブータン、チベットなどが多く、そこから広がって世界各地で生産されるようになり、各国の特徴をもったチーズができるようになりました。チーズづくりは、初めは“暮らしの技”として受け継ぎ、家庭生活の中で味噌や醤油と同じようにつくられたもので、もともと産業として存在したものではないのです」と発生の由来を説明した。

日本の酪農の歴史について「昔から日本では、北海道とその他の府県のケースの２つがあります。府県の場合は戦後アメリカから小麦粉や脱脂粉乳の輸入が増えてパン食となり、減反政策を補うために、１頭～10頭の牛をワラとフスマを使って各家で飼うとい形で乳牛の導入や水田酪農をはじめました。これに対し北海道では昔は米がとれなかったので草を乳に変えようということで、開拓団が入り大きな農場を造成し乳牛を増やしました。しかし国がパイロットファームという大規模農場をつくったため個人では倒産するところも増えたためリース農場制度ができ、公社が土地を買い取り酪農家に貸すという方法でチーズの生産などをうまく進めていった歴史があります」と説明した。

また「EU の一つであるイタリアのチーズには、おもにビット、ペコリーノという２種類がありますが、ハード・タイプでヨーグルトから水分を抜いてチーズをつくっています。大きな銅鍋で作ると非常においしい」と、世界各地のチーズづくりの特徴や利用状況などについて、国の歴史とともに各地の写真を使いながら紹介した

最後に「世界中には、ものづくりの中に暮らしがあふれていて、思想・歴史を創ってきたものだということを、身を持って感じました。日本にも田舎へ行くと、今でもモノづくりの中に残っていると思いますが、産業化が進む中でそれがどんどんなくなってきている。日本の農業も専業農家が減り危うくなってきている。しかし自分たちの暮らしの中の思想を守るために“ものづくり”をしていると貫き通して、チーズづくりをしております」と締めくくった。

吉田牧場のチーズ

第24回 EU 講座

「欧州全体の林業の現況と未来 CLT の活用状況と未来に向けての展望」

銘建工業　中島浩一郎社長が講演

岡山 EU 協会（松田正己会長）の第24回 EU 講座は９月10日（火）、岡山市北区駅元町の ANA クラウンプラザホテル岡山で開かれ、銘建工業㈱の中島浩一郎代表取締役社長が「欧州全体の林業の現況と未来　CLT の活用状況と未来に向けての展望」の演題で講演した。

中島　浩一郎 氏

岡山 EU 協会の会員と岡山経済同友会が10月から11月にかけて行うヨーロッパ経済視察の参加者ら、約70人が聞いた。

松田会長（岡山経済同友会代表幹事）が「岡山と EU の関係は深い。英国は離脱問題などで混迷しているが、EU 全体の状況を把握しながら、知見を深めたい。」とあいさつ。講演に移った。

中島社長は、新建材 CLT（直交集成板）の普及を推進している銘建工業の業務内容を紹介しながら、ヨーロッパ林業の現状や、木材産業が隆盛なオーストリア、スウェーデンの事情を解説。林業の関係者の所得が高く、輸出額も多額とし、広大な森林を抱えながら伐採が進まない日本との比較を語った。所得の高い国では、林業が産業として成り立つと、日本の可能性も示唆した。その背景として、中島社長は「木を植え育て、伐採するインフラが出来上がっている。仕組みが整うのが大事。木材はちゃんとやれば大変な産業になる」と指摘した。

挨拶をする松田正己会長

石の文化といわれるヨーロッパでも、1600年代のロンドンでは木造住宅が主流だったとし、英国では軽くて施工が早く、住み心地がいい CLT の導入が進んでいる例を示した。ウイーンのホテル、バンクーバーの学生寮、チューリヒの動物園などを紹介し、すべて工場生産で作る CLT の利点をアピール。仮設道路に利用したりするなど世界に広がっている様子を挙げた。欧州では、10階建て以上の木造マンションが次々に建設されていることから、中島社長は「21世紀は木の時代。SDGs の考え方そのもので、欧州では関心の高いテーマ」と語った。

槇野博史副会長

真庭市でも、姫新線久世駅の木造トイレが話題となっているのをはじめ、全国各地に目を転じると、企業の社員寮や木造の賃貸アパートが脚光を浴びているとし、木造建築の豊かな未来を語り、参加者に感銘を与えた。

会場からは「日本と欧州では、原木に大きな差があるのか」「傾斜が激しい日本の山。切って運ぶ課題は」「CLT とコンクリートの価格差はどうか」などの質問が出ていた。

閉会あいさつに立った岡山 EU 協会副会長の槇野博史岡山大学学長は「明るい話を聞けた。SDGs を推進しているが、本日の話こそ SDGs だ。テクノロジーがイノベーションを生んでいる」と感想を話した。

Topics ―トピックス―

EU 協会全国総会　創立10周年迎え大使の来岡など要望

2018年度 EU 協会全国総会は12月６日（木）東京都南麻布の欧州連合代表部で全国14の EU 協会のうち11協会が出席して開かれた。岡山からは２年ぶりに事務局の太田美登里氏が参加、本会からの要望などを述べた。

EU 協会全国総会の総会会場

総会では、まずフランチェスコ・フィニ公使があいさつに立ち、日本―EU 間の EPA（経済連携協定）と SPA（戦略的パートナーシップ協定）についてバランスのとれた重要な協定であることを説明し、全国の EU 協会にこれらの認知度を高めるための協力を求めた。

この後、フリオ・アリアス広報部長と末常美和子氏を中心に、各地の EU 協会から１年間の活動状況や今後の予定などを説明した。岡山からは同年１月に新しく羽田浩事務局長が就任したこと、６月に世界の古民家を分散型ホテルに呼び起こそうと提唱しているイタリアのジャンカルロ・ダッラーラ氏を招いての「アルベルゴ・ディフーゾ・フォーラム」を開き好評だったことを報告、さらに来年度は岡山 EU 協会が創立10周年を迎えるため記念行事にぜひパトリシア・フロア大使にお越しいただけるようお願いした。

休憩をはさんで討議・意見交換に移り、留学生のアフターフォロー、EU 協会自体の財政状況、「EU があなたの学校にやってくる」の募集、映画祭についての要望、インターネット上の SNS（Social Networking Service）活用など、各地の悩みや問題点を持ち寄り活発に情報・意見交換を行った。

就実グローカル・フォーラム（岡山 EU 協会共催）

日本の針路　就実大で討議 EU の課題もテーマに

11月３日（祝）、就実大学（岡山市中区西川原）で、日本の針路について考える「就実グローカル・フォーラム2018」が開かれた。

岡山 EU 協会、岡山県中小企業団体中央会が共催し、経営者、教職員、学生ら約170人が聞いた。世界の現状分析として、変動性、不確実性、複雑性、曖昧性を示す「VUCA」をキーワードに、国内外の有識者が議論を進めた。

松田久・岡山 EU 協会会長のあいさつの後、英誌エコノミスト元編集長のビル・エモット氏が基調講演。「ビジネス環境は10年前に比べ良くなったが、2011年以降の欧州債務危機で、各国で分断現象が起きた。英国の EU 離脱、トランプ大統領の登場、米中の経済対立が欧州に影響するのではと懸念している」とし、移民問題、ポピュリズムの台頭、イタリアの債務高などで新たな分断が起きるのではと見通した。

続いて元在日米国商工会議所会頭のグレン・Ｓ・フクシマ氏、元ソニー㈱会長の出井伸之氏らが加わり意見交換。フクシマ氏は「下積み経験がないトランプ大統領の誕生で、世界の不確実性が増した。だが米国は非白人が増え、開かれた方向に向かっている。中長期的には良い方向に向かうだろう」との認識を示した。

出井氏は「われわれはパラダイムチェンジのただ中にいる。1995年のインターネット開放が大きかった。EU、米国、中国でデータの主権を巡る争いが起きている。ビジネスの中心は大西洋から太平洋に移っており、日本の未来は決して悪くない」と分析した。

その後の自由討議では、世界政治の混迷、米国での関税問題、移民問題と国民の反発、情報プラットフォーマーの寡占などを巡って白熱。国内外の有識者が示す奥深い議論に、詰めかけた参加者が聞き入った。

第25回ＥＵ講座のご案内

- ●日時　令和元年11月29日（金）　15：30～17：00
- ●会場　ANA クラウンプラザホテル岡山　19階「宙」
- ●講師　マンリオ・カデロ　氏
  サンマリノ共和国駐日特命全権大使
- ●テーマ　ヨーロッパと日本の産業技術交流について（仮題）

※来年１月には岡山 EU 協会10周年記念講演会・懇親会を開催します。詳細は11月ごろホームページに掲載予定。

岡山ＥＵ協会 事務局

〒700-0985　岡山市北区厚生町3-1-15
岡山商工会議所ビル５階
（一社）岡山経済同友会内

ＴＥＬ：086-222-0051
ＦＡＸ：086-222-3920
E-mail：info@okayama-eu.jp
ＵＲＬ：http://okayama-eu.jp